

心に とどけ スマイル 便

NO.14

発行 令和3年2月

ぼくもわたしも この本大好き

由利本荘市子どもの読書活動推進会議
〒018-0692 由利本荘市西目町沼田字弁天前40-61
由利本荘市教育委員会生涯学習課
TEL.0184-32-1332 FAX.0184-33-2202



子どもに贈る「絵本の喜び」

子どもの読書活動推進会議
会長 中川 節子

絵本のいのちは、「文」と「絵」です。この二つが生かされた時絵本の楽しさはふくらむのです。「絵本は、子どもに読ませる本ではなく、大人が子どもに読んでやる本だ」といわれています。「大人が読んでやった」時、絵本のいのちの「文」と「絵」が子どもを楽しませる様子を、マリー・ホール・エッツの絵本「もりのなか」を開いてのぞいてみましょう。

「ぼくは、かみのぼうしをかぶり、あたらしいらっぱをもって、もりへさんぽにでかけました」とお母さん（大人）の声で絵本のことばが子どもの耳に入ってきます。その時、子どもは絵をじっと見えています。絵からは、プップーとらっぱの音が聞こえ、「ぼく」が森の奥へと歩いていくのが見えてきます。こうして読み終えたときの満足そうにほほ笑む子どもの顔が目に見えます。「読んでもらった」からこそ、耳と目で「文」と「絵」を同時に楽しむことができ、絵本の喜びがあふれたのです。それに、大好きなお母さん（大人）と一緒にいるのでこんなうれしいことはありません。「絵本の喜び」で、親子が安らぐ幸せな一時です。

「もりのなか」にはまだおもしろいことがあります。「ぼく」がらっぱを吹きます。すると、さあ大変。不思議なことが起こります。らいおんもぞうも登場する動物はみんな口をきいたのです。お話は、らっぱの音でファンタジー（空想）の世界に入っていきます。「めっきらもっきら どおんどん」では、「どどーととかぜがふき、かんだはあなのなかへすいこまれ」、空想の世界でへんてこりんな三人ぐみと遊びます。らっぱや笛や風や歌などは、なんの不思議もなくすると現実から空想の世界へつれていってくれます。そしてまた現実へと戻ってきます。「もりのなか」では、お父さんがもりへやってきたとき、「かんだ」がさびしくなって「おかあさん」と叫んだとき、もとの所に帰ります。空想の世界の楽しさ、そこに入っていき戻ってくる時のおもしろさ。絵本の楽しさは尽きません。こんなお話の絵本は沢山あります。

幼い時の親（大人）に「読んでもらう絵本の時間」は、「絵本の喜び」の贈り物となって子どもの一生の宝物になるに違いありません。



三歳から始まって五・六歳までに“絵本の喜び”を知った子どもは、生涯、本を手放さないでしょう。本の世界へのパスポートは、自分で本を読むようになる以前に準備され、手渡されるのです。

「絵本の現在 子どもの未来」 松居 直著



おすすめの絵本の紹介



今回は、中央図書館から「おすすめの絵本」を紹介していただきました。出版年が比較的新しい本を中心に紹介していただいております。バラエティー豊かで、子どもたちに人気がある本や読み聞かせにピッタリの本はまだまだたくさんあります。

読書はもちろんですが、乳幼児期からの読み聞かせの重要性が指摘されております。下記の「おすすめの絵本」は中央図書館にありますので、この機会にぜひ読んでみてください。

就学前

どうぶつパンやさん
(ひかりのくに)



おさんぼ (主婦の友社)

きょうのおやつは

なんだろな? (すずき出版)

さんさんさんぼ (講談社)

パンダともだちたいそう
(講談社)



そらめめくん

こんにちは (小学館)

ごはんごはん

(視覚デザイン研究所)

でんしゃからバイパーイ

(くもん出版)

おやすみのえほん (童心社)

たべもの なにから

できている? (交通新聞社)



小学校低学年

きりかぶのきりじいちゃん (小学館)

しあわせなおうじ (フレーベル館)

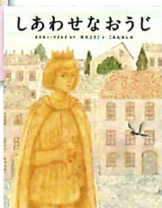
としよかんのよる (ほるぷ出版)

ようこそ!ここはみんなの

がっこうだよ (すずき出版)

めくってごらん ことばの

かくれんぼ (イースト・プレス)



まちがいまちにようこそ (小峰書店)

てるちゃんのかお (金の星社)

あれあれあれ

(ポプラ社)

2ひきのかえる

(理論社)

まほうのおまめ

(文藝春秋)



小学校高学年

そらいる男爵 (主婦の友社)

ピロードのうさぎ (ブロンズ新社)

ひだまり (光村教育図書)

子どもつなひき騒動 (福音館書店)

マッチ箱日記 (BL出版)



「ゆりほんライブラリー」を開始しました!



2020年6月より、ゆりほんテレビ (CATV) の番組内で、由利本荘市図書館のイベント情報やオススメ本を紹介するコーナーを放送しています。

毎週金曜日の放送を基本とし、「今月のイベント情報」や「おすすめする本」などを紹介しています。

月別にテーマを設けて、中央図書館職員が「こども向け」「U_20 (10代向け)」「大人向け」など、図書館の本を3~5冊程度を紹介していますので、本選びの参考にはいかがでしょうか?

番組で紹介した「おすすめする本」は中央図書館にも展示しています。

★由利本荘市図書館HPでも視聴可能です。ぜひご覧ください。

由利本荘市図書館HPアドレスはこちらです ⇒ www.city.yurihonjo.lg.jp/honjo/tosyo/